

名前:眞行寺 明香

留学先:アメリカ合衆国ミシシッピ州

幸せであるために

私はアメリカミシシッピ州にある、PETAL HIGH SCHOOL に約一年間、ホームステイの形で交換留学していました。この一年間を振り返り、どのようなレポートを書こうか悩みに悩みましたが、日々肌で感じた国民性や社会の違いについて書きたいと思います。

まず、アメリカの学校に通って思ったことは、内面や外見ともに生徒の個性が一人一人違って現れていて、またそれを気にする人がほとんどいないということです。というのも、たくさんの人種や考え方の人がいてその全員が個人の主張を躊躇なくするので「そういう人なんだな」で済まされることが多いからだと思います。また私が思うに、日本が「人のための社会」なのに対してアメリカは「自分・家族のための社会」です。このことがわかる例として私は公衆トイレを挙げたいと思います。日本の公衆トイレはとてもきれいで衛生的だと思います。使う人皆が次に使用する人のことを考えて、「使う前よりもきれいに」という思いがひしひしと伝わってきます。普通の質を上げることが得意な私たちですが、この修正には他人の目を気にする文化、他人に迷惑をかけない美德が関係していると思います。対してアメリカは例外もありますが、基本的にきれいではありません。私はこの日本の快適に過ごせる「人のため、皆のため」の社会が好きです。しかしこう比べた時に生きやすかったのはアメリカでした。やはり個

人の意見を尊重し、自分に正直になりやすい環境はストレスが少なく、様々な考えに柔軟に対応できるようになりました。

最近、日本をはじめ世界で主張されている LGBTQ 問題について、こうすべきだと断言するのは難しいことだし、かといって簡単に受け止めるには、法律やトイレなど物理的に時間がかかる問題も多々あります。固定観念をすぐに全面的に変える試みは、もしかすると反対に、より生きづらい世の中にさせてしまうかもしれません。しかし今回私がこの留学で学んだ、いい意味で自己中心的に好きなように生きること、そして干渉しすぎないことは進化し続けるこの世で幸福であるために必要なことだと思います。

このレポートを通して両国のいいところや、こんな考え方もあるんだなあと再認識していただけたら嬉しいです。



上段左:学校のイベントでD.Cに訪れた際に親友と撮った写真です。
上段真ん中:プロムの前にホスト brother たちと撮った写真です。
上段右:ホストファミリーとフロリダに旅行したときに撮った写真です。
下段左:友達の卒業パーティーで仲良しの子と撮った写真です。
下段右:部活でいつも一緒にいたこたちと撮った写真です。